

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公開番号】特開2010-22527(P2010-22527A)

【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2008-186083(P2008-186083)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月16日(2012.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示する可変表示部を備え、該可変表示部における識別情報の表示結果が予め定められた特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記特定遊技状態に制御するか否かを、前記識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

該事前決定手段の決定結果に基づいて、前記特定遊技状態に制御される可能性があることを報知する複数の予告演出のうちから実行する予告演出を決定する予告演出決定手段と

、該予告演出決定手段により決定された予告演出を実行する予告演出実行手段と、

遊技者が操作可能な操作手段と、を備え、

前記予告演出決定手段は、前記予告演出の態様に基づいて分類された複数種類の予告演出種別のうちいずれの予告演出種別に属する予告演出を実行するかを決定する予告種別決定手段と、該予告種別決定手段により決定された予告演出種別に属する予告演出のうちから前記実行する予告演出を決定する予告決定手段とを有してなり、

前記複数の予告演出は、1回の可変表示中に予め定められた順番に従って、予め定められたタイミングで演出を1回又は複数回変化させることによって前記特定遊技状態に制御される可能性があることを段階的に報知するステップアップ予告演出と、1回の可変表示中に前記操作手段の操作に基づいて前記特定遊技状態に制御される可能性があることを報知する操作予告演出とを含むことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技媒体を用いて1ゲームに対して所定の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、各々を識別可能な複数種類の入賞用識別情報を可変表示させる入賞用可変表示部に表示結果が導出されることにより1ゲームが終了し、該入賞用可変表示部に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能である遊技機であって、

前記入賞用可変表示部の表示結果が導出される前に、遊技者にとって有利な特定遊技状態への移行を伴う特定入賞を含む複数種類の入賞各々の発生を許容するか否かを決定する

入賞用事前決定手段と、

該入賞用事前決定手段の決定結果に応じて、前記入賞用可変表示部に表示結果を導出させる制御を行う入賞用導出制御手段と、

前記特定入賞に対する特定入賞表示結果が前記入賞用可変表示部に導出されたときに、前記特定遊技状態に制御する特定遊技状態制御手段と、

各々を識別可能な複数種類の演出用識別情報を可変表示する演出用可変表示部と、

該演出用可変表示部における前記演出用識別情報の表示結果が予め定められた特殊表示結果となったときに、遊技者にとって有利な状態に移行する移行条件が成立していることを示唆する示唆演出手段と、

前記特殊表示結果とするか否かを、前記演出用識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する演出用事前決定手段と、

該演出用事前決定手段の決定結果に基づいて、前記特殊表示結果となる可能性があることを報知する複数の予告演出のうちから実行する予告演出を決定する予告演出決定手段と、

該予告演出決定手段により決定された予告演出を実行する予告演出実行手段と、

遊技者が操作可能な操作手段と、を備え、

前記予告演出決定手段は、前記予告演出の態様に基づいて分類された複数種類の予告演出種別のうちいずれの予告演出種別に属する予告演出を実行するかを決定する予告種別決定手段と、該予告種別決定手段により決定された予告演出種別に属する予告演出のうちから前記実行する予告演出を決定する予告決定手段とを有してなり、

前記複数の予告演出は、前記演出用識別情報の1回の可変表示中に予め定められた順番に従って、予め定められたタイミングで演出を1回又は複数回変化させることによって前記特殊表示結果となる可能性があることを段階的に報知するステップアップ予告演出と、前記演出用識別情報の1回の可変表示中に前記操作手段の操作に基づいて前記特殊表示結果となる可能性があることを報知する操作予告演出とを含むことを特徴とする遊技機。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

まず手段1に係る発明は、各々を識別可能な複数種類の識別情報（第1特別図柄、第2特別図柄、演出図柄）を可変表示する可変表示部（第1特別図柄表示器8a、第2特別図柄表示器8b、演出表示装置9）を備え、該可変表示部における識別情報の表示結果が予め定められた特定表示結果（大当り図柄）となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（大当り遊技状態）に制御する遊技機（パチンコ機）であって、前記特定遊技状態に制御するか否かを、前記識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段（遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるS61の処理を実行する部分）と、該事前決定手段の決定結果に基づいて、前記特定遊技状態に制御される可能性があることを報知する複数の予告演出のうちから実行する予告演出を決定する予告演出決定手段（演出制御用マイクロコンピュータ100におけるS518Aの処理を実行する部分）と、該予告演出決定手段により決定された予告演出を実行する予告演出実行手段（演出制御用マイクロコンピュータ100におけるS846～S855の処理を実行する部分）と、遊技者が操作可能な操作手段（操作ボタン120）と、を備え、前記予告演出決定手段は、前記予告演出の態様に基づいて分類された複数種類の予告演出種別のうちいずれの予告演出種別に属する予告演出を実行するかを決定する予告種別決定手段（演出制御用マイクロコンピュータ100におけるS570の処理を実行する部分）と、該予告種別決定手段により決定された予告演出種別に属する予告演出のうちから前記実行する予告演出を決定する予告決定手段（演出制御用マイクロコンピュータ100におけるS573，S576，S579，S581，S583の処理を実行する部分）とを有してなり、前記複数の予告演

出は、1回の可変表示中に予め定められた順番に従って、予め定められたタイミングで演出（予告演出A，B，C，D，E，e、予告演出X，Y，Z，z）を1回又は複数回変化させることによって前記特定遊技状態に制御される可能性があることを段階的に報知するステップアップ予告演出（第1ステップアップ予告演出，第2ステップアップ予告演出）と、1回の可変表示中に前記操作手段の操作に基づいて前記特定遊技状態に制御される可能性があることを報知する操作予告演出（ボタン予告演出）を含むことを特徴とする遊技機である。

これによれば、予告種別決定手段が、予告演出の種類に基づいて分類された複数種類の予告演出種別のうちいずれの予告演出種別に属する予告演出を実行するかを決定し、予告決定手段が、該決定された予告演出種別に属する予告演出のうちから実行する予告演出を決定するので、特定の予告演出が実行される振分率を変更したい場合の作業効率を向上できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また手段2に係る発明は、手段1に記載した遊技機（パチンコ機）であって、前記事前決定手段によって前記特定遊技状態に制御しない旨の決定がなされたことに基づいて、前記識別情報の可変表示状態を所定のリーチ状態とするか否かを決定するリーチ決定手段（遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるS95～S97の処理を実行する部分）と、前記事前決定手段の決定結果又は前記リーチ決定手段による決定結果の少なくとも一方に基づいて、前記識別情報の変動パターンが属する変動パターン種別を複数種類のうちのいずれかに決定する変動パターン種別決定手段（遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるS101，S102の処理を実行する部分）と、該変動パターン種別決定手段により決定された変動パターン種別に含まれる変動パターンのうちから前記識別情報の変動パターンを決定する変動パターン決定手段（遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるS103～S105の処理を実行する部分）と、該変動パターン決定手段の決定結果に対応して、少なくとも前記識別情報の変動表示を含む変動演出を実行する変動演出実行手段（演出制御用マイクロコンピュータ100におけるS520，S845の処理を実行する部分）と、を備えたことを特徴とする遊技機である。

これによれば、変動パターン種別決定手段が、複数種類の変動パターン種別のうちいずれの変動パターン種別に属する変動パターンを実行するかを決定し、変動パターン決定手段が、該決定された変動パターン種別に属する変動パターン演出のうちから実行する変動パターンを決定するので、特定の変動パターンが実行される振分率を変更したい場合の作業効率を向上できる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また手段3に係る発明は、手段2に記載した遊技機（パチンコ機）であって、前記変動パターン種別決定手段は、前記事前決定手段によって前記特定遊技状態に制御しない旨の決定がなされ、かつ前記リーチ決定手段によって前記リーチ状態に制御しない旨の決定がなされたことに基づいて、前記変動パターン種別を、所定の特定演出（滑り又は擬似連）を実行する特定変動パターンが属する変動パターン種別に決定（遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるS100の処理で、変動パターン種別を非リーチCA1-4又は非リーチCC1-3に決定）し、前記変動パターン決定手段は、前記変動パターン種別決

定手段により決定された変動パターン種別に含まれる特定変動パターンのうちから前記変動パターンを決定（遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるS105の処理で、変動パターンを非リーチPA1-4（滑り）又は非リーチPA1-5（擬似連）に決定）し、前記変動演出実行手段は、該変動パターン決定手段により決定された特定変動パターンに対応する特定演出を実行することを特徴とする遊技機である。

これによれば、特定遊技状態に制御されず、かつリーチ状態に制御されない場合であっても、特定変動パターンに対応する特定演出（擬似連、滑り）が実行されるので、特定遊技状態の発生に対する期待感を向上できる。また変動パターン種別決定手段が、複数種類の変動パターン種別のうちいずれの変動パターン種別に属する特定変動パターンを実行するかを決定し、変動パターン決定手段が、該決定された変動パターン種別に属する特定変動パターンのうちから実行する特定変動パターンを決定するので、該特定変動パターンが実行される振分率を変更したい場合の作業効率を向上できる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また手段4に係る発明は、遊技媒体を用いて1ゲームに対して所定の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、各々を識別可能な複数種類の入賞用識別情報を可変表示させる入賞用可変表示部に表示結果が導出されることにより1ゲームが終了し、該入賞用可変表示部に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能である遊技機（スロット機）であって、前記入賞用可変表示部の表示結果が導出される前に、遊技者にとって有利な特定遊技状態への移行を伴う特定入賞を含む複数種類の入賞各々の発生を許容するか否かを決定する入賞用事前決定手段と、該入賞用事前決定手段の決定結果に応じて、前記入賞用可変表示部に表示結果を導出させる制御を行う入賞用導出制御手段と、前記特定入賞に対する特定入賞表示結果が前記入賞用可変表示部に導出されたときに、前記特定遊技状態に制御する特定遊技状態制御手段と、各々を識別可能な複数種類の演出用識別情報を可変表示する演出用可変表示部と、該演出用可変表示部における前記演出用識別情報の表示結果が予め定められた特殊表示結果となったときに、遊技者にとって有利な状態（例えば、ビッグボーナス、AT・CT・RT・ART等）に移行する移行条件が成立していることを示唆する示唆演出手段と、前記特殊表示結果とするか否かを、前記演出用識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する演出用事前決定手段と、該演出用事前決定手段の決定結果に基づいて、前記特殊表示結果となる可能性があることを報知する複数の予告演出のうちから実行する予告演出を決定する予告演出決定手段と、該予告演出決定手段により決定された予告演出を実行する予告演出実行手段と、遊技者が操作可能な操作手段と、を備え、前記予告演出決定手段は、前記予告演出の態様に基づいて分類された複数種類の予告演出種別のうちいずれの予告演出種別に属する予告演出を実行するかを決定する予告種別決定手段と、該予告種別決定手段により決定された予告演出種別に属する予告演出のうちから前記実行する予告演出を決定する予告決定手段とを有してなり、前記複数の予告演出は、前記演出用識別情報の1回の可変表示中に予め定められた順番に従って、予め定められたタイミングで演出を1回又は複数回変化させることによって前記特殊表示結果となる可能性があることを段階的に報知するステップアップ予告演出と、前記演出用識別情報の1回の可変表示中に前記操作手段の操作に基づいて前記特殊表示結果となる可能性があることを報知する操作予告演出とを含むことを特徴とする遊技機である。

これによれば、予告種別決定手段が、予告演出の種類に基づいて分類された複数種類の予告演出種別のうちいずれの予告演出種別に属する予告演出を実行するかを決定し、予告決定手段が、該決定された予告演出種別に属する予告演出のうちから実行する予告演出を決定するので、特定の予告演出が実行される振分率を変更したい場合の作業効率を向上できる。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また手段5に係る発明は、手段1～4のいずれか1つに記載した遊技機（パチンコ機，スロット機）であって、前記予告演出決定手段は、可変表示中の同一期間に同時に実行しない予告演出（第2ステップアップ予告演出，ボタン予告演出）については、前記予告種別決定手段によって前記実行する予告演出の予告演出種別を決定し、可変表示中の同一期間に同時に実行可能な予告演出（第1ステップアップ予告演出）については、前記予告種別決定手段によらずに前記実行する予告演出を決定する（演出制御用マイクロコンピュータ100におけるS572，S575，S578，S580の処理を実行する部分）ことを特徴とする遊技機である。

これによれば、可変表示中の同一期間に同時に実行しない予告演出については予告演出種別で分けしてしまうので、互いに禁則をかけるためのデータ設定（例えば振分率を0にする）をする必要が無く、データ設定が容易になる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また手段6に係る発明は、手段1～5のいずれか1つに記載した遊技機（パチンコ機，スロット機）であって、前記ステップアップ予告演出は、第1ステップアップ予告演出（予告演出A，B，C，D，E，eを実行可能な第1ステップアップ予告演出：図82参照）と、該第1ステップアップ予告演出とは異なる第2ステップアップ予告演出（予告演出X，Y，Z，zを実行可能な第2ステップアップ予告演出：図83～図85参照）とを含み、前記予告演出実行手段は、前記予告演出決定手段が前記実行する予告演出として前記ステップアップ予告演出を決定した際に、該ステップアップ予告演出として前記第1ステップアップ予告演出と前記第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能である（図78に示す例では、演出図柄の高速変動期間に同時に第1ステップアップ予告演出と第2ステップアップ予告演出とを実行可能である。具体例として、図87及び図88に示すように、演出図柄の高速変動の開始と共に第1ステップアップ予告演出の予告演出Aと第2ステップアップ予告演出の予告演出Xが同時に開始され、その後、第1ステップアップ予告演出では予告演出Aから予告演出Bに変化し、一方、第2ステップアップ予告演出では予告演出Xから予告演出Yに、また予告演出Yから予告演出Z，zに変化している。）ことを特徴とする遊技機である。

これによれば、ステップアップ予告演出が、第1ステップアップ予告演出と、該第1ステップアップ予告演出とは異なる第2ステップアップ予告演出とを含み、予告演出実行手段が、ステップアップ予告演出として第1ステップアップ予告演出と第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能である構成とされているので、複数のステップアップ予告演出（第1ステップアップ予告演出，第2ステップアップ予告演出）を同時に実行して興趣の向上を図ることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

さらに手段 7 に係る発明は、手段 6 に記載した遊技機（パチンコ機，スロット機）であって、前記予告演出実行手段は、前記第 1 ステップアップ予告演出が終了（例えば予告演出 B で第 1 ステップアップ予告演出が終了）した以降の所定のタイミングで、前記第 2 ステップアップ予告演出における演出（例えば予告演出 Z，z）を変化させる制御を実行する（例えば図 8 7（3 - 3）～（3 - 5）に示すように予告演出 B が終了した時点で第 1 ステップアップ予告演出を一旦終了させ、その後に図 8 8（3 - 6）及び（3 - 8）に示すように第 2 ステップアップ予告演出における示唆演出と予告演出 z を実行し、又は図 8 9（3 - 11）に示すように第 2 ステップアップ予告演出における予告演出 Z を実行する。）ことを特徴とする遊技機である。

これによれば、予告演出実行手段が、第 1 ステップアップ予告演出が終了した以降の所定のタイミングで、第 2 ステップアップ予告演出における演出を変化させる制御を実行するように構成されているので、一方のステップアップ予告演出（第 1 ステップアップ予告演出）が終了しても、もう一方のステップアップ予告演出（第 2 ステップアップ予告演出）が継続して実行される場合があり、特定遊技状態の発生に対する期待を維持させることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】